

コンポスト容器の使い方（例）



① コンポスト容器を設置する

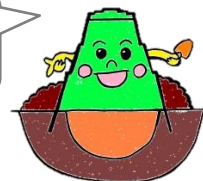
日当たり、水はけ、風通しの良い場所に設置して下さい。

50cm 程度土を掘り、容器を 10cm 程度地中に埋めます。

その後、容器のまわりに、掘った時に出土をかぶせて固定します。

※掘る深さは 50cm くらいが目安ですが、より深く掘ると生ごみをたくさん処理できるので効果的です。

10cm くらい
埋めてね



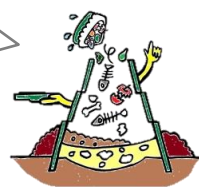
② よく水切りをして、生ごみを投入しましょう

よく水切りをしてから生ごみを投入します。

水分が多いと温度が上昇せず、分解が遅くなったり、臭いが出たりすることがあります。

また、生ごみを細かく刻んでから入れると、空気に触れやすくなるため早く分解します。

よく水切りしてから
入れてね



③ 土をかぶせましょう

生ごみを投入したら、その上に乾燥した土をかぶせます。

これを繰り返していきます。

土をかぶせることにより、水分調整、悪臭の防止、発酵促進、虫の発生の防止などの効果があります。

また、枯葉や枯れ草を入れると、微生物の働きにより分解が進んだり、水分調整にも役立ちます。

生ごみの上から
土をかぶせてね



④ 時々かき混ぜましょう

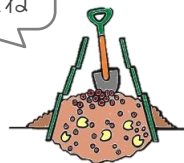
土の中にいる微生物などにより 生ごみが分解され、たい肥化が進みます。

時々容器の中身をかき混ぜて、空気を送り込んでください。

よく攪拌することにより温度が上昇し、生ごみの分解が進みます。

※発酵を促進させたり、虫の発生を抑える効果のある発酵促進剤が市販されていますので、必要に応じて使用してください。

時々かき混ぜて
空気を送ってね



⑤ 容器一杯になったら寝かせましょう

中身が一杯になったら容器を上引き上げ、土やビニール等をかぶせて、たい肥化するまで寝かせておきます。

コンポスト容器を2基設置して、交互に使用すると効率よくたい肥を使うことができます。

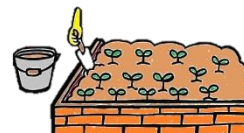
※コンポスト容器は、1世帯につき2基まで補助の対象となります。

寝かせたら完成！



たい肥の完成です！

できたたい肥は、花壇や家庭菜園などでご利用ください。



注意！



コンポスト容器には、微生物が分解できないものは入れないでください。

OK

台所から出る生ごみ、落ち葉、乾燥させた雑草等の有機物

NG

腐敗したもの、ビニール、プラスチック類、薬品等